

# 2026-2030五カ年計画 及び 2026年度事業計画

I. 26-30五か年：23-25振り返りと26-30骨子

II. 26-30五か年：重点施策と目標

III. 2026年度事業計画

2026/3/23

一般財団法人バイオインダストリー協会

**I . 2026-2030五カ年計画  
(23-25振り返りと26-30骨子)**

## 1. 2023/2025三カ年計画の総括

**目標： ■ バイオ戦略の具体化 ■ バイオコミュニティの形成加速**

### ■ 新バイオ戦略の推進

- ・グローバルコミュニティ (GTB)： 主体的参画を促す環境整備と成果創出の場(GTBコラボイベント)の提供
- ・研究会活動の推進：**新研究会の稼働と活動充実化 (FBP：WG活動、バイオものづくりフォーラム：稼働)**

### ■ オープンイノベーション戦略

- ・**BioJapanのプレゼンス向上： 国際的バイオイベントとして認知されるまでに成長**  
商談件数：15,134(2022年) ⇒ 19,663 (2023年) ⇒ 22,045(2024年) ⇒ 25,498(2025年)  
**国際的投資イベント「Investment Forum」を開始**
- ・充実した講演会、セミナーの開催 (年間160件以上)、バイオリーダーズ研修 (累計卒業生500名を突破)
- ・**表彰制度 (バイオインダストリー大賞・奨励賞)： 研究会と連動した受賞者活動支援、プロモーションビデオ作成**

### ■ 政策提言活動

- ・**バイオ戦略見直しに向けた提言と日本成長戦略の検討課題に向けた提言を三者連名で発出**

### ■ 活動基盤の強化

- ・働き方改革と会員サービスの拡充：**会計・業務システム導入による業務効率化、入会后フォローによるJBA活用促進**
- ・会員とのコミュニケーション強化： My Page登録促進 (登録数15,000を突破)、賀詞交歓会の再開
- ・生物多様性： COP15の影響評価を周知、COP16国際交渉支援を実施

### ■ 収支バランス維持：正味財産を維持

- ・正味財産期末残高：1,460百万円 (2024/03末) ⇒ 1,533百万円 (2026/03末見込み)

### ■ 法人会員数(KPIを達成)：505法人 (2024/03末) ⇒ 542 (2025/03末) ⇒ 553 (2026/03末)

## 2. 次期五カ年計画で考慮すべき政府施策

### ■ 研究力の強化・人材育成：

- ✓ 戦略的重点分野の選定と研究開発推進
- ✓ 新たな研究領域への挑戦（AI/量子）
- ✓ 時代に即した研究環境の整備
- ✓ 優れた科学技術人材の継続的な育成

### ■ イノベーション・エコシステムの高度化：

- ✓ 産学官連携の推進
- ✓ スタートアップ・エコシステムの形成
- ✓ バイオコミュニティにおけるイノベーション推進
- ✓ 知財・標準化戦略の推進

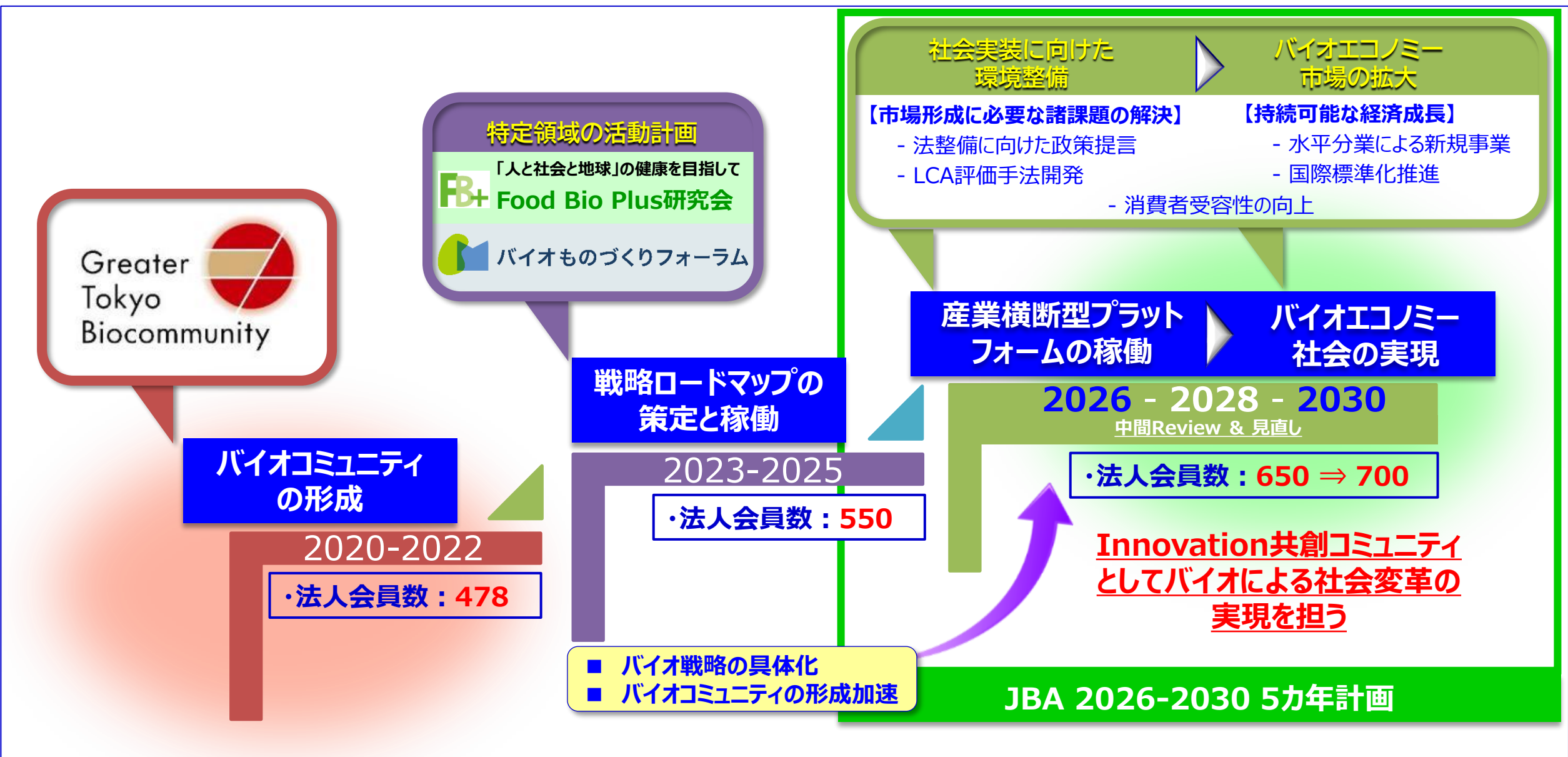
### ■ 経済安全保障との連携：

- ✓ 重要先端技術の育成
- ✓ 技術流失防止の取組み推進
- ✓ 堅牢なサプライチェーンの構築

#### 【参照資料】

- 内閣府／総合科学技術・イノベーション会議  
第7期「科学技術・イノベーション基本計画」の骨子（案） 2025.11.27
- 経済産業省／貿易経済安全保障局  
経済安全保障に関する産業・技術基盤強化の検討状況と今後の方向性 2025.11

## 3. 2030年を見据えたJBAロードマップ



# 4. 2026-2030五カ年計画／基本戦略

## ➤ 重点目標

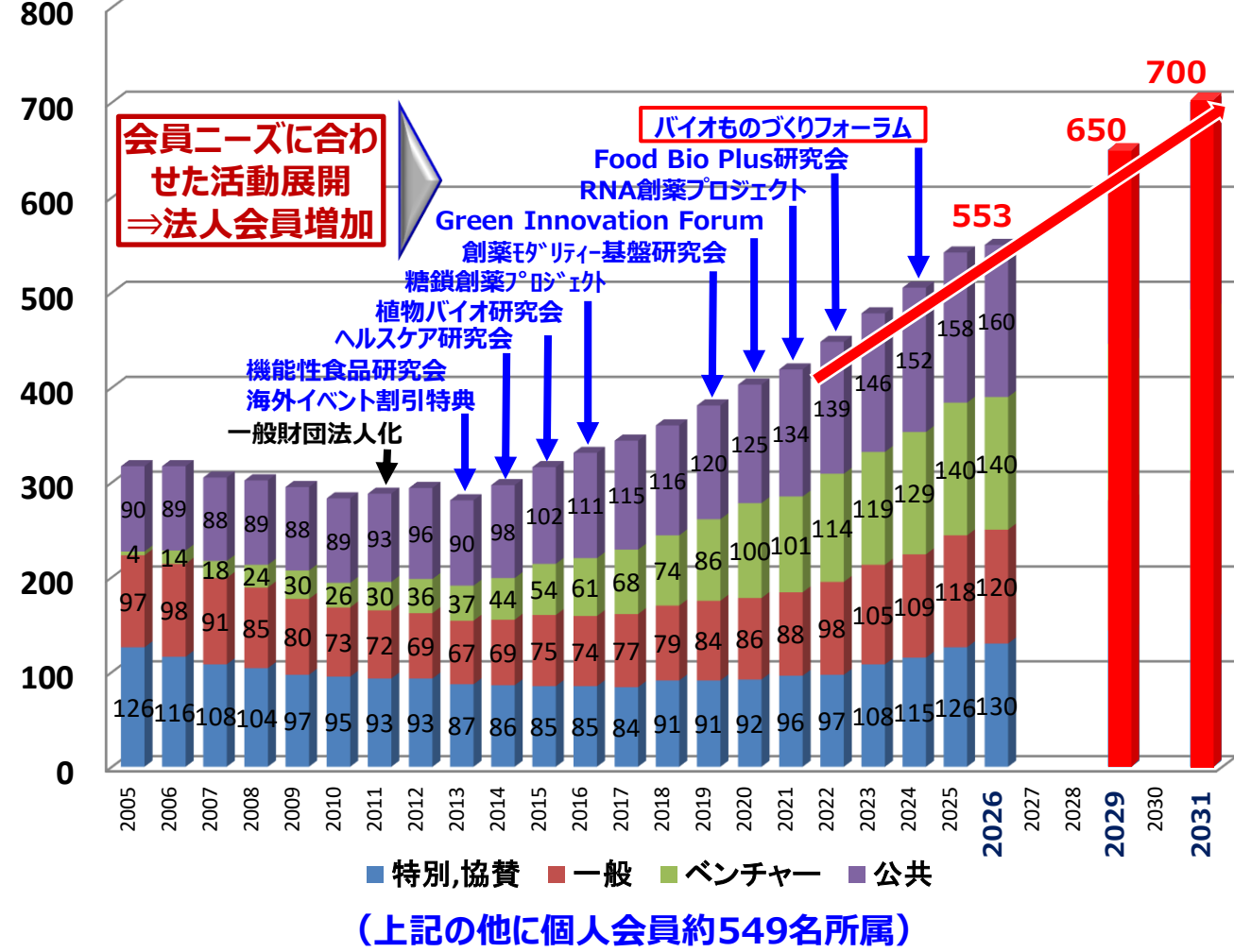
- バイオエコノミー市場の拡大
- 社会実装に向けた環境整備

## ➤ 活動の評価

- 会員満足度や業界の期待度が反映される法人会員数で評価  
⇒ KPI：法人会員数**700**  
(2031/03 時点)

### JBA法人会員数の推移

「会員数変動は会員の満足度や業界の期待度を計るバロメーター」



## 5. 2026-2030五カ年計画／重点施策とアクション

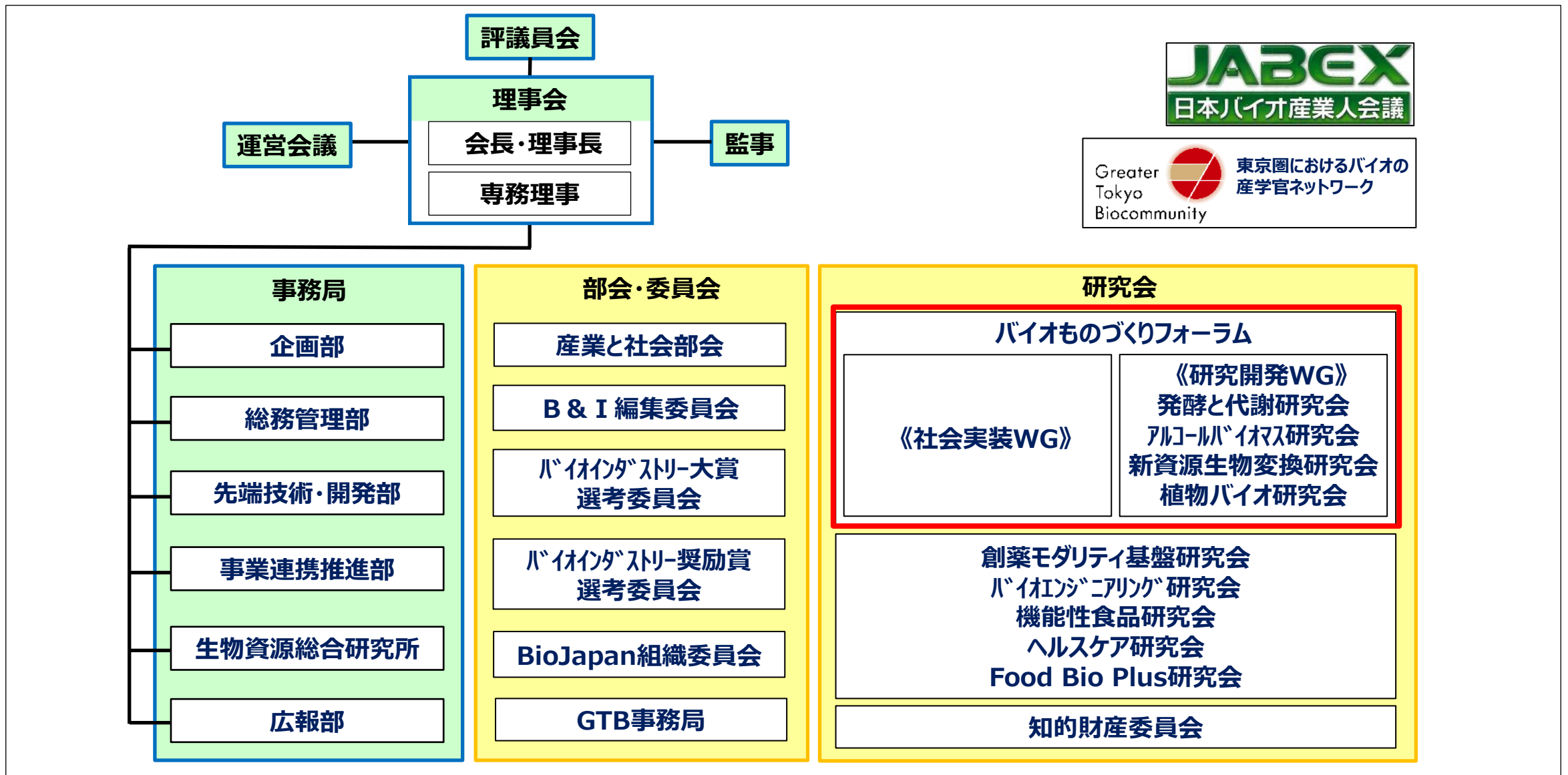
### ➤ 重点施策

1. バイオコミュニティ活性化と新規事業創出に向けた連携機会の提供
2. バイオエコノミー実現に向けた提言・対話と戦略推進活動の実行
3. バイオ産業の発展に繋がる先端技術情報とイノベーションを育む共創の場の提供
4. バイオ産業を取巻く環境への対応と情報発信
5. 会員サービス拡充と運営機能強化

### JBA 5 Actions

- 1 政策提言、政策対話
- 2 先端バイオ情報提供  
シーズ発掘・産業化
- 3 オープンイノベーション  
推進
- 4 国際ネットワーク形成、  
国際的枠組みづくり
- 5 バイオインダストリー  
発展の基盤整備

## 6. 組織体制



## **Ⅱ. 2026-2030五カ年計画 (重点施策と目標)**

### 重点施策 1) バイオコミュニティ活性化と新規事業創出に向けた連携機会の提供

#### (1) 国内外のバイオコミュニティとの連携及びGTBの活性化

- ① 国内外の関連団体との連携
- ② GTB：主体的参画を促す環境整備
- ③ GTB：成果創出・投資促進の場の提供
- ④ GTB：活動効果の検証・明示

#### (2) オープンイノベーションプラットフォーム「BioJapan」

更なる規模拡大と国際化促進、世界的バイオイベントとしての確固たる地位確立

KPI： 参加・パートナー企業数 1,568社(2025) → 2,100社(2028) → 2,500社(2030)  
商談件数 25,498件(2025) → 31,000件(2028) → 35,000件(2030)

- ① 投資促進活動の強化
- ② BioJapanの国際的プレゼンス向上

#### (3) 会員とともに推進するオープンイノベーション

- ① セミナー開催による会員間コミュニケーションの強化
- ② 国内外イベント参加割引の利用拡大

### 重点施策 2) バイオエコノミー実現に向けた提言・対話と戦略推進活動の実行

重点活動

#### (1) 議員・関係府省庁との対話による産業界意見の政策反映

KPI： 次期バイオエコノミー戦略への具体的施策の提言(30年度末まで)  
JABEX総会の開催(2回/年)【(1)(2)活動共通KPI】

① JBA各研究会との連携による意見収集

② 外部機関との連携による意見収集

(バイオ議連, 日EU BRT, 経団連, AMED, NEDO, JST, 産総研, 等)

③ 関係府省庁への情報提供・意見交換、提言等の実施

#### (2) バイオエコノミー戦略の着実な推進

① 産官学のハブ機能を活用した関係者間コミュニケーションの強化

② バイオ戦略有識者との個別打合せ等による情報共有・意見交換

③ バイオ戦略タスクフォースへの情報提供・意見交換

# 重点施策3) バイオ産業の発展に繋がる先端技術情報とイノベーションを育む共創の場の提供

### (1) 研究会活動の深化と新化

KPI: セミナー、イベントなどの満足度90%以上（やや満足以上の割合）

- ① 会員ニーズを的確に捉えた新規活動の展開
- ② 新規バイオ技術と異分野との連携推進  
(セミナー開催、産官学マッチング機会の提供により共創を推進)
- ③ 研究会活動を通じたバイオエコノミー戦略の推進

### (2) 見える化による研究会活動への参画意義の訴求

- ① 活動の見える化によるJBA認知度向上と新規会員獲得の促進
- ② 研究会参加メリットの明確化と非会員へのアピール  
(JBA会員・研究会員メンバー限定のセミナー・WG活動・講演動画・交流会等)
- ③ 会員への情報発信プラットフォームの提供

### 重点施策 4) バイオ産業を取巻く環境への対応と情報発信

#### (1) バイオ関連規制の理解促進と課題への対応

##### ① カルタヘナ法の運用支援と規制環境変化の影響検証

- ・カルタヘナ法説明会（KPI 1回／年、参加者500名以上）、ガイドブック改定
- ・カルタヘナ法個別相談（100%迅速対応）

##### ② 遺伝資源の利益配分(ABS)：遺伝資源へのアクセスと利用環境の整備

#### (2) 生物多様性条約(CBD)と企業の接点に関する活動と情報提供

##### ① 「昆明・モンリオール生物多様性枠組※」と企業活動への影響に関する情報提供

（KPI：10社／年）※2030年までの地球規模の生物多様性保全行動計画

##### ② 「デジタル配列情報」の取り扱いに関する国際活動と国内措置への対応

#### (3) 人財育成支援

##### ① バイオへの入口の提供（「みんなのバイオ学園」の運営とメンテナンス）

##### ② 教育関連団体との連携（学習資材の提供と活動周知）

##### ③ オープンイノベーション人財育成（バイオリーダーズ研修）

- ・活気ある研修の継続と次世代研修への転換（2029年度より実施体制を刷新）  
（KPI：修了者 30名／年、2028年度までに第20回完了・卒業生600名以上）
- ・卒業生のネットワーキング強化

### 重点施策 4) バイオ産業を取巻く環境への対応と情報発信

#### (4) サイエンスコミュニケーション

- ① 知的財産支援活動（産業界の課題抽出と専門機関との連携強化）
- ② バイオの理解促進（ゲノム編集メディアセミナー・政策情報セミナー）
- ③ 産業と社会部会（社会実装に向けた最新情報提供と議論の機会提供）

#### (5) 広報活動の強化と新規共感の創出

- ① 既存会員への情報発信強化とコンテンツの質向上
- ② 非会員層への認知拡大と共感の創出
- ③ グローバルな活動を視野に入れた広報媒体の構築と活用

KPI マイページ登録者数： 21,000人以上（2028）⇒ 25,000人以上(2030)

#### (6) 日本発バイオ研究の価値発信と表彰事業の充実

- ① 表彰事業の認知拡大とプレゼンス向上
- ② 表彰対象領域の拡大と選考制度の最適化
- ③ 受賞者の活動支援とJBA事業との協働深化

### 重点施策5) 会員サービス拡充と運営機能強化

#### (1) 運営機能見直しによるJBA組織力強化

- ① 理事会、運営会議の効率的運用と施策との連動強化
- ② 新マネジメント体制による組織体制の最適化

#### (2) 会員満足度向上に向けたサービス体制の強化

KPI 2030年度末： 700法人

- ① 新法人会員管理システム構築による会員毎のサポート体制の強化
- ② 魅力あるコンテンツの充実による新規法人会員獲得（KPI:会員満足度）

#### (3) サステナブルな組織の実現

- ① 働きやすい雇用形態の充実と労働環境の整備
- ② 安定的な事業収益性確保のための取り組み強化

## **Ⅲ. 2026年度事業計画**

# 重点施策 1) バイオコミュニティ活性化と新規事業創出に向けた連携機会の提供

## JBAのバイオコミュニティ形成促進

### 1. コミュニティ構築

- 全国バイオコミュニティ連絡会\*）（年1回）
- 国際活動（情報交換・連携活動等、年100回以上）

### 2. バイオスタートアップ育成

- バイオベンチャーデータベース
- マッチング支援、国際展開支援
- スタートアップ向け情報提供・交流会

### 3. アライアンス促進

- バイオビジネスセミナー
- 国内外イベントの参加料割引（約20イベント）

### 4. オープンイノベーションプラットフォーム



### 5. グローバルバイオコミュニティ形成活動 「Greater Tokyo Biocommunity (GTB)」



\*） 全国バイオコミュニティ連絡会 …… 約50のバイオ産業振興団体、自治体、関係省庁、地方経済産業局が参加

## 重点施策 1) バイオコミュニティ活性化と新規事業創出に向けた連携機会の提供

### (1) 国内外のバイオコミュニティとの連携及びGTBの活性化

#### ① 国内外の関連団体との連携

##### 国内連携

- ・ 全国バイオコミュニティ連絡会： 毎年1月の会合開催
- ・ 期を通じた情報共有の活性化
- ・ 認定バイオコミュニティ連絡会議による地方との連携



##### 国際連携

- ・ 在日海外公館・海外団体との連携強化・拡大
- ・ BioJapanや海外イベントを活用した海外団体との相互協力
- ・ 非創薬領域での連携を特に強化



##### バイオベンチャーデータベース

- ・ 近畿バイオとの共同運営・プロモーション体制推進 → 企業情報収載強化
- ・ JBA入会・訪問スタートアップやBioJapan参加スタートアップの掲載推進
- ・ 登録インセンティブを強化



## 重点施策 1) バイオコミュニティ活性化と新規事業創出に向けた連携機会の提供

### (1) 国内外のバイオコミュニティとの連携及びGTBの活性化

#### ② GTB：主体的参画を促す環境整備

- ・ 総会・実務者会議を通じた対面交流促進
- ・ バイオイノベーション推進 8 拠点の継続的情報発信、GTBコラボイベントの発信・活用促進
- ・ バイオイノベーション推進 8 拠点ごとの整備計画の具体化
- ・ インキュベーション施設の整備環境促進

#### ③ GTB：成果創出・投資促進の場の提供

- ・ 地域との連携およびBioJapanを活用したバイオ産業への投資促進
- ・ 海外バイオクラスターとの連携および国際投資イベント活用により、企業の海外展開を支援
- ・ GTB関連国家プロジェクトおよび協議会メンバーの研究成果のビジネスマッチングを加速
- ・ 海外VC等の対日投資の促進

#### ④ GTB：活動効果の検証・明示

- ・ 8 拠点の投資状況の更新
- ・ 社会実装の成功事例の収集と明示



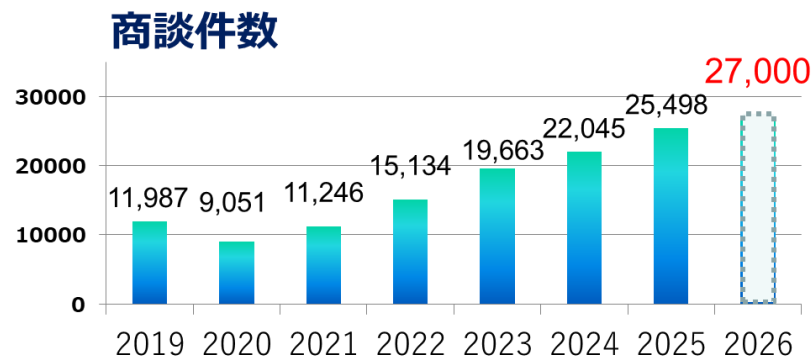
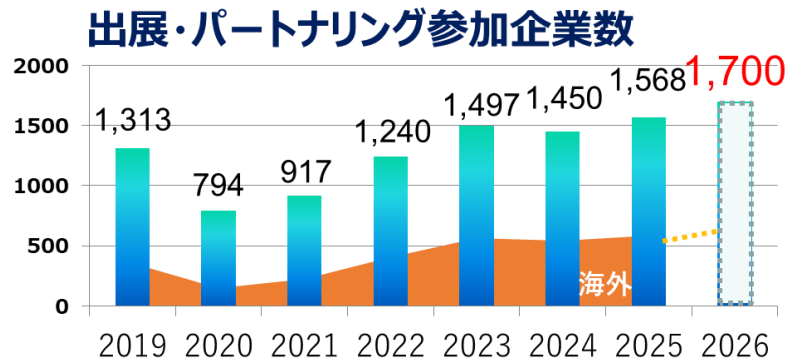
① 研究開発	57 国プロジェクト 総額 最大約 <b>3,250</b> 億円/10年(2021-2030)
② ベンチャー支援	国の支援 推定約 <b>1,750</b> 億円/7年(2023-2030)
③ 生産設備	20製造拠点・本社機能 国の補助金 約 <b>2,300</b> 億円
④ 民間投資	総額 >約 <b>9,100</b> 億円/約4年(2021-2025)

## 重点施策 1) バイオコミュニティ活性化と新規事業創出に向けた連携機会の提供

### (2) オープンイノベーションプラットフォーム「BioJapan」

① 投資促進活動の強化 (Investment Forum強化、GTB連動など)

② BioJapanの国際的プレゼンス向上 (サテライトイベント支援、海外デレガーション支援など)



### (3) 会員とともに推進するオープンイノベーション

① セミナー開催による会員間コミュニケーションの強化

- ・ バイオビジネスセミナーおよびバイオスタートアップを対象としたセミナー実施
- ・ 業界レポート解説セミナーによる会員への情報提供

② 国内外イベント参加割引の利用拡大

- ・ 会員ニーズに基づいたイベントの発掘と割引提供
- ・ イベント主催団体との良好な関係性継続・新規構築

## 重点施策2) バイオエコノミー実現に向けた提言・対話と戦略推進活動の実行

### (1) 議員・関係府省庁との対話による産業界意見の政策反映

・各領域において、ステークホルダーとの情報共有、議論内容をもとに、課題の整理や分析の実施、タイムラインやインパクト等から優先度の検討、打ち込み内容の立案、関係府省庁と対話・提言等を行う。

① JBA各研究会との連携による意見収集 (バイオものづくりフォーラム, FBP, 各医療系, 等)

② 外部機関との連携による意見収集

(バイオ議連, 日EU BRT, 経団連, AMED, NEDO, JST, 産総研, 等)

③ 関係府省庁への情報提供・意見交換、提言等の実施

(個別面談, JABEX総会, 関連の各種会合, メディア発表, 等の各チャネルを活用)



### (2) バイオエコノミー戦略の着実な推進

・政策情報セミナーの開催やJBA各研究会・GTBとの連携を通じた施策浸透活動を実施。

・戦略の推進を通じたステークホルダーとの関係構築の実施。

① 産官学のハブ機能を活用した関係者間コミュニケーションの強化

② バイオ戦略有識者との個別打合せ等による情報共有・意見交換

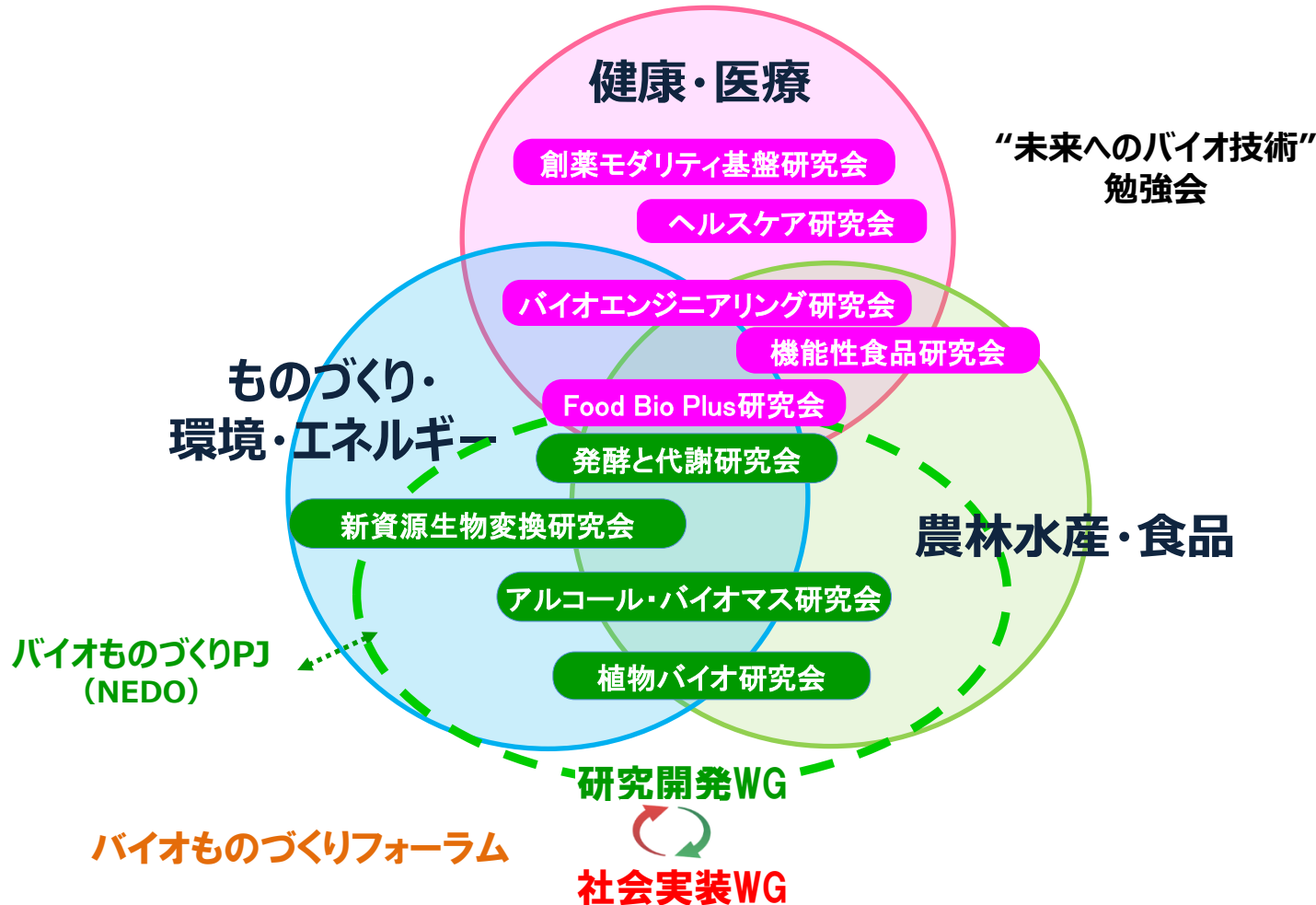
③ バイオ戦略タスクフォースへの情報提供・意見交換



JABEX総会の様子

## 重点施策3) バイオ産業の発展に繋がる先端技術情報とイノベーションを育む共創の場の提供

研究会/WG活動、セミナー・勉強会、研究開発プロジェクトを通じた情報発信並びに  
**“共創の場”**、**“社会実装へのパイプ”**の提供



### □ 研究会・勉強会

#### ◆ バイオものづくりフォーラム

##### ➤ 社会実装WG

##### ➤ 研究開発WG

- ・ 発酵と代謝研究会
- ・ アルコール・バイオマス研究会
- ・ 新資源生物変換研究会
- ・ 植物バイオ研究会

#### ◆ Food Bio Plus研究会

#### ◆ 創薬モダリティ基盤研究会

#### ◆ バイオエンジニアリング研究会

#### ◆ ヘルスケア研究会

#### ◆ 機能性食品研究会

#### ◆ “未来へのバイオ技術”勉強会

### □ 研究開発プロジェクト

#### ◆ バイオものづくりPJ (NEDO)

\* RNA標的創薬技術開発事業 (経産/AMED) は2026/3で終了

## 重点施策3) バイオ産業の発展に繋がる先端技術情報とイノベーションを育む共創の場の提供

### (1) 研究会活動の深化と新化

KPI : セミナー、イベントなどの満足度90%以上 (やや満足以上の割合)

#### ① 会員ニーズを的確に捉えた新規活動の展開

・研究から事業化・社会課題解決へとつながる新規活動を推進

#### ② 新規バイオ技術と異分野との連携推進

・より深掘りしたセミナーやWG活動を通じ、産官学のマッチング機会を創出し共創を促進

#### ③ 研究会活動を通じたバイオエコノミー戦略の推進

・関連機関との協働により行政への提言や国プロ提案を推進

### (2) 見える化による研究会活動への参画意義の訴求

#### ① 活動の見える化によるJBA認知度向上と新規会員獲得の促進

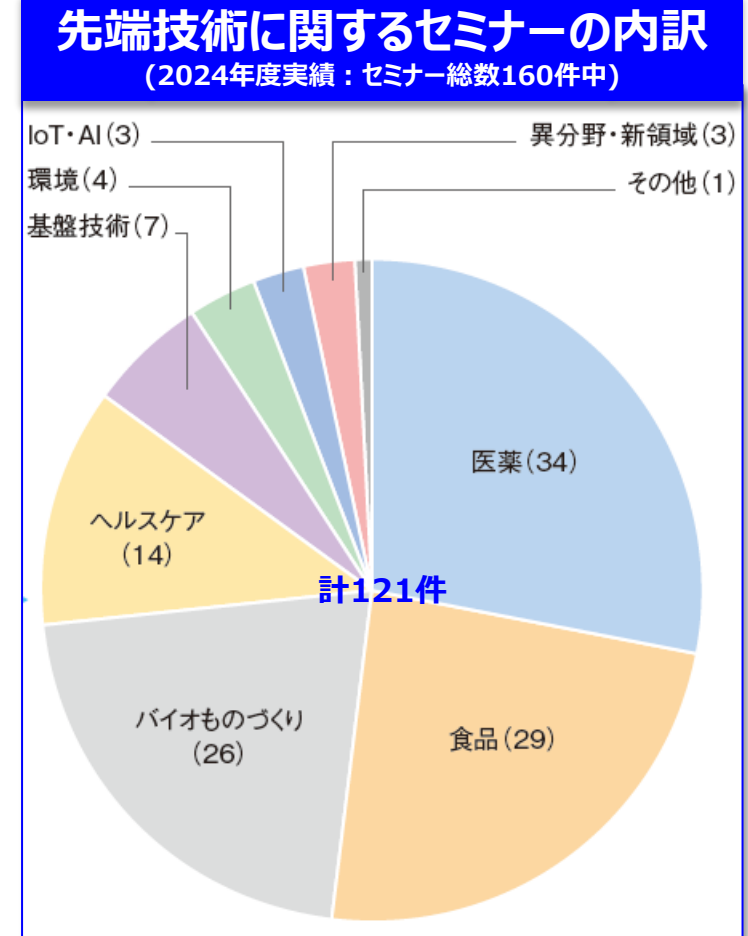
・先端バイオ技術情報のタイムリーな発信 (各種セミナー、技術シーズ集)  
・JBA非会員へのアプローチ (活動の一部紹介を通じた入会促進)

#### ② 研究会参加メリットの明確化と非会員へのアピール

・オープン活動とクローズ活動の組み合わせによる魅力ある研究会活動の訴求 (JBA会員・研究会員メンバー限定コンテンツのアピール)

#### ③ 会員への情報発信プラットフォームの提供

・GTB・JABEXとの連携によるネットワーク機会の創出、外部発信の場の提供 (B&I、BioJapan、HP活用)



## 重点施策 4) バイオ産業を取巻く環境への対応と情報発信

### (1) バイオ関連規制の理解促進と課題への対応

#### ① カルタヘナ法の運用支援と規制環境変化の影響検証

- ・カルタヘナ法説明会：12月～2月開催／規制動向を反映した内容見直し（KPI 1回／年、参加者500名以上）、ガイドブック改定
- ・カルタヘナ法個別相談：関連省庁・団体と連携した規制活用支援（100%迅速対応）



カルタヘナガイドブック ABS解説動画

#### ② 遺伝資源の利益配分(ABS)：遺伝資源へのアクセスと利用環境の整備

- ・海外動向調査・分析、相談窓口開設、セミナー開催、ウェブによる情報提供

### (2) 生物多様性条約(CBD)と企業の接点に関する活動と情報提供

#### ① 「昆明・モントリオール生物多様性枠組」と企業活動への影響に関する情報提供

- ・COP15で採択された枠組（Nature Positive：生物多様性の損失を止め反転させる）の周知
- ・COP16で議論された「DSI（遺伝資源に関連するデジタル配列情報）の利益配分」の影響評価
  - 周知強化（産業と社会部会など）とDSIインパクトの情報発信 KPI：10社／年

#### ② 「デジタル配列情報」の取り扱いに関する国際活動と国内措置への対応

- ・COP17に向けた「DSIの使用に係る利益配分に関する多国間メカニズム」への対応と交渉支援
  - 産業界の意見集約と政府・CBD事務局へのインプット
  - 第7回補助機関会合（SBI-7）@ナイロビ・ケニア／8月
  - 生物多様性条約第17回締約国会議（COP17）@エレバン・アルメニア／10月
  - COP17決定事項の産業界への影響分析・報告

## 重点施策 4) バイオ産業を取巻く環境への対応と情報発信

### (3) 人財育成支援

#### ① バイオへの入口の提供：

- ・「みんなのバイオ学園」の運営とメンテナンス

#### ② 教育関連団体との連携：学習資材の提供と活動周知

- ・科学技術館、日本バイオ技術教育学会等との連携

#### ③ オープンイノベーション人財育成：バイオリーダーズ研修

- ・2026年7月15日（水）～17日（金）（KPI：修了者30名／年）
- ・BioJapanを活用した卒業生アルムナイの開催



グループワークの様子

### (4) サイエンスコミュニケーション

#### ① 知的財産支援活動：産業界の課題抽出と専門機関との連携強化

- ・会員や研究会からの要請に応じた日本弁理士会共催セミナー開催、特許庁との連携
- ・知的財産委員会総会の開催（1回／年）

#### ② バイオの理解促進：関連団体と連携した情報発信

- ・ゲノム編集の産業応用支援：ステークスホルダーに向けたセミナー開催
- ・政策情報セミナー：重点テーマ「バイオエコノミー戦略」（JABEX共催）

#### ③ 産業と社会部会：社会実装に向けた最新情報提供と議論の機会提供

- ・会員実務者層へのアプローチ：部会総会の開催（1回／年）

## 重点施策 4) バイオ産業を取巻く環境への対応と情報発信

### (5) 広報活動の強化と新規共感の創出

#### ① 既存会員への情報発信強化とコンテンツの質向上

- ・HPのコンテンツ更新頻度Upとメール/セミナーニュースの視認性の改善
- ・持続可能な機関誌の発刊に向けたB&I編集業務改革の推進

#### ② 非会員層への認知拡大と共感の創出

- ・最新情報をタイムリーに発信するSNS等の高拡散度の広報手段の考案と実行

#### ③ グローバルな活動を視野に入れた広報媒体の構築と活用

- ・英語版HPの充実による英語配信の拡大



### (6) 日本発バイオ研究の価値発信と表彰事業の充実

#### ① 表彰事業の認知拡大とプレゼンス向上

- ・表彰事業10周年記念イベントの開催
- ・表彰事業の更なる発展に資する新たな財源確保の推進

#### ② 表彰対象領域の拡大と選考制度の最適化

- ・新大賞選考委員会、新奨励賞選考委員会の組織編制および新選考システムの導入

#### ③ 受賞者の活動支援とJBA事業との協働深化

- ・セミナー登壇等JBAの各事業イベントへの関与巻き込みの推進
- ・JBA新規事業への受賞者の積極的活用機会の創出



2025年度 大賞・特別賞・奨励賞受賞者

## 重点施策5) 会員サービス拡充と運営機能強化

### (1) 運営機能見直しによるJBA組織力強化

#### ① 理事会、運営会議の効率的運用と施策との連動強化

- ・実質的議論の場としJBA諸施策への展開を図る

#### ② 新マネジメント体制による組織体制の最適化

- ・会長、理事長、専務理事の運営方針の諸事業への落とし込み
- ・組織横断的な連携による柔軟な要員配置の実現



### (2) 会員満足度向上に向けたサービス体制の強化

#### ① 新法人会員管理システム構築による会員毎のサポート体制の強化

- ・会員管理システム構築による会員情報の一元管理の実現

#### ② 魅力あるコンテンツの充実による新規法人会員獲得

- ・現状の活動内容の評価を通じたコンテンツの充実



### (3) サステナブルな組織の実現

#### ① 働きやすい雇用形態の充実と労働環境の整備

- ・アウトソーシング推進と各種決裁フローのシステム化による生産性向上

#### ② 安定的な事業収益性確保のための取り組み強化

- ・適切な債券管理の継続